

- 問1 山地から平地へと変わる境界部分に形成される扇状地において、古くから果樹園などの土地利用が盛んに行われてきた理由を、地形の性質から説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 海岸沿いに波の作用で運ばれた砂が堆積し、塩分を含んだ土壌が果実を甘くするから | 2. 河口付近に位置しており、標高が低く水を引き込みやすいため水田に適しているから。 | 3. 堆積した土砂の粒が大きく水はけが良いため、水が地下に浸透しやすいから。 | 4. 火山灰が積み重なってできた平坦な地形で、養分が豊富に含まれているから。 |
|---|--|--|--|
- 問2 中部地方の中央部には、標高3000メートル前後の険しい山々が連なり、「日本の屋根」とも称される広大な山岳地帯があります。この地域を構成する飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈を合わせた総称として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 奥羽山脈 | 2. 越後山脈 | 3. 中国山地 | 4. 日本アルプス |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問3 北陸地方を通る北陸新幹線の地理的特徴について、福井駅から長野駅までの各県庁所在地の並びと、その位置関係を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|---|
| 1. 福井から東へ向かうと富山、金沢の順に県庁所在地を通り、その後、内陸の長野へ至る。 | 2. 福井から東へ向かうと長野、金沢、富山の順に県庁所在地が並んでいる。 | 3. 福井から北東へ向かうと金沢、富山の順に県庁所在地を通り、その後、内陸の長野へ至る。 | 4. 福井から北東へ向かうと金沢、長野の順に通る、最後に日本海側の富山へ至る。 |
|---|--------------------------------------|--|---|
- 問4 中部地方における農業の統計において、農業産出額に占める「米」の割合が58.7%と極めて高く、広大な平野を活用した稲作が産業の大きな柱となっている県はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 岐阜県 | 3. 新潟県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 中部地方の工業地域のうち、富山県などを含む北陸地方の工業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 印刷業や食料品工業など、都市型工業の割合が他の工業地域よりも非常に高い。 | 2. かつては豊富な電力を利用した金属工業などが発達し、現在も化学工業や金属工業の割合が比較的高い。 | 3. 古くから繊維工業が盛んであったが、現在はバイオテクノロジーを用いた食料品製造が産業の9割を占める。 | 4. 出荷額の大部分を輸送用機械が占めており、特に自動車の生産額が全国でも突出している。 |
|---|--|--|--|
- 問6 中部地方のある都市の統計において、1月の平均気温がマイナス0.4度、7月の平均気温が23.6度となっています。また、降水量は1月が35.9mmと非常に少なく、7月は138.4mmとなっています。長野県などの内陸部で見られるこのような気候区分を何と呼びますか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 中央高地の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 太平洋側の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問7 東海工業地域に属する静岡県では、自動車やオートバイなどの生産が非常に盛んです。県の製造品出荷額において、24パーセント以上の最も高い割合を占めている産業分類を選択肢から選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|----------------|---------------|---------|
| 1. 電気機械器具製造業 | 2. 情報通信機械器具製造業 | 3. 輸送用機械器具製造業 | 4. 化学工業 |
|--------------|----------------|---------------|---------|
- 問8 愛知県、沖縄県、千葉県、長野県の4県の製造品出荷額の構成比を比較した際、自動車などの機械工業を含む「重工業」の割合が圧倒的に高く、全国で最も高い工業出荷額を記録し続けている県はどこですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 沖縄県 | 3. 長野県 | 4. 千葉県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の公害の歴史をまとめた資料において、富山県で発生したイタイイタイ病の発生メカニズムを説明する文として、最も適切なものはどれか。なお、この公害は神通川流域で発生したものである。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 化学工場の排水に含まれていた有機水銀が魚介類に蓄積され、それを摂取した人々に手足のしびれなどの神経症状を引き起こした。 | 2. 鉱山から排出されたカドミウムが川を汚染し、その水を用いた農業や飲用を通じて体内に蓄積し、骨がもろくなるなどの被害をもたらした。 | 3. 自動車の排気ガスに含まれる窒素酸化物が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし、目やのどに刺激を与える霧状の物質を発生させた。 | 4. 石油コンビナートの工場群から排出された亜硫酸ガスが原因で、周辺住民に激しいせきやぜんそくなどの呼吸器系疾患を多発させた。 |
|--|--|---|---|
- 問10 北陸地方における「冬の気候」と「人々の生活」の関係について述べた文として、正しいものを選びなさい。なお、福井市の統計では冬の降水量が多く、農業暦では冬に農作業の記録がないことを前提とします。（2023年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 積雪によって屋外での農作業が制限される時間を、室内での副業に充てた | 2. 冬の間は都市部へ出稼ぎに行くことが禁止されたため、独自の文化が途絶えた | 3. 雪解け水による豊かな水資源を、大規模な工業用水としてのみ利用した | 4. 冬の厳しい寒さを利用して、農作物の二毛作を全国に先駆けて行った |
|--------------------------------------|--|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 甲府盆地などの扇状地で、水田ではなくぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている土地利用の理由として最も適切なものはどれですか。（2025年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 砂利が多く水はけが良い土壌のため水田に適さず、果樹栽培に適しているから。 | 2. 地下水が豊富で常に地面が浸水しているため、果樹しか育たないから。 | 3. 川が頻繁に氾濫するため、稲作を行うことが技術的に不可能だから。 | 4. 平坦な土地が広大であり、大型農業機械を使った果樹の大量生産に向いているから。 |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問12 富山県では冬季に多くの降雪が見られますが、このような気候の特徴が生じる地形的な要因と仕組みについて述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2025年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 暖流である黒潮の影響で水蒸気が大量に発生し、それが大陸からの冷たい空気と混ざり合うことで山沿いに雪を降らせる。 | 2. 湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、県中央部を南北に走る飛騨山脈にぶつかると雪を降らせる。 | 3. 太平洋側から吹く湿った季節風が、日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらす。 | 4. 標高の低い山々が連なっているため、大陸からの乾いた冷たい風が遮られることなく吹き込み、地表の水分を凍らせる。 |
|--|--|---|---|
- 問13 日本の冬の気候において、日本海側で世界的に見ても稀なほどの降雪が見られる要因を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 太平洋側から吹く温かく湿った季節風が、高い山脈を越える際に冷却されて雪を降らせるため。 | 2. 冬に勢力を強める小笠原気団が日本列島を覆い、日本海側の湿った空気を急激に冷やすため。 | 3. 赤道付近で発生した熱帯低気圧が日本海を北上し、大陸からの寒気と混ざり合うことで大雪をもたらすため。 | 4. 大陸からの冷たく乾燥した季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇するため。 |
|--|---|--|--|